



文化博物館だより 第514号

2018年3月23日

今回の博物館だよりは、企画展「くらしのうつりかわり展—家事のさしすせそ—」関連イベントについて、春季特別展のご案内をお届けします。

ワークショップ「手づくりおもちゃ教室」を開催しました！（2018年3月11日）



身近にある材料ですてきなおもちゃに変身♪



おっちゃんの説明をしっかりと聞いてみなさん真剣に取り組んでいました

紙芝居師の“おっちゃん”こと阿部元則さんを講師に迎え、ワークショップ「手づくりおもちゃ教室」を開催しました。

お子さんから大人の方まで20名が参加してくださいました。材料は折り紙や厚紙、ストローや輪ゴムなど身近にあるものばかりですが、ひと手間加えれば、楽しいおもちゃのでき上がり♪完成したおもちゃを使ってみんなで遊びました。

ワークショップ「足踏み式ミシン体験」を開催しました！（2018年3月18日）

ミシンを使ったことのない小学生から昔使っていたという大人の方まで14名が「足踏み式ミシン」を体験されました。

踏板を踏んで縫い進める動作が楽しいと、小学生からも大好評でした。昔使ったことがあり、懐かしくてどうしても体験したかったという大阪からお越しの方も大変喜んでくださいました。実際に体験することで、みなさん色々な発見があったようでした。



こちらの2台の足踏み式ミシンは戦前～昭和30年代に使われていたものです



4月7日より開催！春季特別展「誕生50周年記念 リカちゃん展」



昭和42（1967）年に誕生した着せ替え人形「リカちゃん」（発売元：株式会社タカラトミー）は、平成29（2017）年に誕生50周年を迎えました。いつの時代も女の子たちの憧れを体現してきたリカちゃん。50年の間に4代にわたってモデルチェンジをし、現在のリカちゃんは4代目として、愛され続けています。本展のテーマは「Licca meets Licca」。三世代にわたって愛されるリカちゃんの歩みをたどり、時代の鏡としてのドールやハウスを通して、日本のファッションや生活様式、文化の変遷を展示いたします。いろいろな時代にタイムスリップしながら、それぞれの時代の憧れが詰まったリカちゃんに出会う中で、きっとあなたの「わたしのリカちゃん」を見つけられるはずです。どうぞ家族でお越しください。

【リレー講演会】あの日、リカちゃんがいた ※当日参加自由

日時：①4月21日（土）②5月3日（木・祝）両日とも13:30～15:30
定員：各回80名（当日参加自由）

- 講師：①「戦後大衆文化の来た道・Ⅰ—人形の変容と拡大—」
明石市立文化博物館 館長 森本 理
「ドールハウス」に見る日本の住宅事情とその周辺 その1
明石市立文化博物館 学芸員 梶原 誠太郎
- ②「戦後大衆文化の来た道・Ⅱ—人形の変容と拡大—」
明石市立文化博物館 館長 森本 理
「ドールハウス」に見る日本の住宅事情とその周辺 その2
明石市立文化博物館 学芸員 梶原 誠太郎

【ワークショップ】じょうずにぬってね！リカちゃんぬりえ

リカちゃんのぬりえをやってみよう。あなたなら、リカちゃんにどんな色のお洋服を着せてあげたい？できた作品は館内に掲示します。
期間：会期中随時

【ギャラリートーク】

日時：4月14日（土）、4月28日（土）、5月19日（土）
14:00～（各回30分程度）

春季特別展「誕生50周年記念 リカちゃん展」

会期：4月7日（土）～5月20日（日） 会期中無休

開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）

観覧料：大人1,000円、大高生700円、中学生以下無料

※前売券・大人800円、前売券・ペア1,300円

※前売券は2018年4月6日（金）まで、当館、山陽電車山陽明石駅・ご案内センター（明石）、明石観光案内所にて販売

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい

来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!